

事項	りんご園におけるフルアジナム水和剤（フロンサイドSC）の土壌かん注によるリンゴ紫紋羽病及びリンゴ白紋羽病跡地の植え穴消毒		
ねらい	これまで、紋羽病の跡地消毒にはクロルピクリンが使われているが、作業上扱いにくい。フルアジナム水和剤は比較的扱いやすく、また作業性も良く、紫紋羽病及び白紋羽病の発病跡地の植え穴消毒剤として高い防除効果を示すことが明らかになったので、参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 処理方法</p> <p>(1) 処理時期：苗木植付け時</p> <p>(2) 消毒方法</p> <p>ア 植え穴を掘り、目に見える腐敗根を取り除く。</p> <p>イ 直径60cm、深さ30cmまでの範囲に、所定量の薬液をかん注しながら掘り上げた土を埋め戻すか、植え付け後に土壌かん注器を用いて所定量を注入する。</p> <p>ウ 希釈倍数：500倍</p> <p>エ 処理量：50ℓ</p> <p>2 農薬登録内容等</p> <p>(1) 登録年月日：平成13年11月</p> <p>(2) 一般名：フルアジナム水和剤</p> <p>(3) 商品名：フロンサイドSC</p> <p>(4) 有効成分：フルアジナム 39.5%</p> <p>(5) 毒性・魚毒性：普通物 C類相当</p> <p>(6) 適用病害及び使用方法</p> <p>ア 適用病害：紫紋羽病、白紋羽病</p> <p>イ 希釈倍数：500倍（1樹当たり50～100ℓ）、1,000倍（1樹当たり100～200ℓ）</p> <p>ウ 使用方法：土壌かん注</p> <p>エ 使用時期：収穫45日前まで</p> <p>オ 使用回数：年2回以内（散布1回、土壌かん注1回）</p>		
期待される効果	<p>1 紫紋羽病および白紋羽病の発病跡地の消毒が簡便になる。</p> <p>2 被害が白紋羽病又は紫紋羽病によるものかを明確に区別できない場合でも、有効に活用できる。</p>		
利用上の注意事項	<p>1 フルアジナム水和剤は改植障害改善の効果はない。</p> <p>2 フルアジナム水和剤は皮膚にかぶれを生じるおそれがあるので、注意事項をよく読んで使用する。</p> <p>3 本資料は平成16年3月1日現在の農薬登録に基づいて作成した。</p> <p>4 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(<a href="http://www.jppn.ne.jp/nouyak">http://www.jppn.ne.jp/nouyak</a> u/)を確認して使用すること。</p>		
担当	青森県農林総合研究センターりんご試験場 病虫肥料部	対象地域	県下全域
発表文献等	<p>平成13～14年度 青森県りんご試験場試験研究成績概要集</p> <p>平成15年度 青森県農林総合研究センターりんご試験場試験研究成績概要集</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 紫紋羽病に対するフルアジナム水和剤の発病阻止効果 (平成12年 青森農林総研りんご試)

薬剤名	希釈倍数	供試樹数	接種後の日数と萎凋・枯死樹数(本)							合計(本)
			20	25	30	35	40	50	100	
フルアジナム水和剤	500倍	5	0	0	0	0	0	0	0	0
トルクロホスメチル水和剤	1,000倍	5	0	0	0	1	1	2	0	4
無処理		5	0	5	-	-	-	-	-	5

(注) ポット植えの1年生マルバカイドーに紫紋羽病を接種し、その直後と12日後の2回所定の濃度の薬液100mlをかん水処理。ポットは25℃・24時間照明下で管理。

表2 紫紋羽病の跡地に対するフルアジナム水和剤の消毒効果 (平成13年 青森農林総研りんご試)

薬剤名	希釈倍数	処理量	供試樹数	萎凋・枯死樹数(本)	左記以外の感染樹数(本)	合計(本)
フルアジナム水和剤	500倍	50ℓ	30	0	0	0
チオファネートメチル水和剤	1,000倍		30	0	11	11
+アンバム剤	1,000倍	50ℓ	30	8	16	24
無処理			30	8	16	24

(注) 1 平成13年5月20日にかん注しながら掘上げた土を埋め戻して植付け、8月～11月まで定期的に萎凋枯死調査。11月16日に全ての供試樹を掘り上げ、感染調査。  
2 供試樹：マルバカイドウ 1年生

表3 紫及び白紋羽病の跡地に対するフルアジナム水和剤の消毒効果 (平成14年青森農林総研りんご試)

薬剤名	希釈倍数	処理量	供試樹数	萎凋・枯死樹数(本)		左記以外の感染樹数(本)		合計(本)	
				白紋羽病	紫紋羽病	白紋羽病	紫紋羽病	白紋羽病	紫紋羽病
フルアジナム水和剤	500倍	50ℓ	13	0	0	0	1	0	1
チオファネートメチル水和剤	1,000倍		13	0	0	3	5	3	5
+アンバム剤	1,000倍	50ℓ	13	1	2	1	6	2	8
無処理			13	1	2	1	6	2	8

(注) 1 平成14年4月26日にかん注しながら掘上げた土を埋め戻して植付け、8月～11月まで定期的に萎凋枯死調査。11月20日に全ての供試樹を掘り上げ、感染調査。  
2 供試樹：ふじ/M.26/マルバカイドウ 1年生

表4 紫紋羽病の跡地に対するフルアジナム水和剤の消毒効果 (平成15年 青森農林総研りんご試)

薬剤名	希釈倍数	処理量	供試樹数	萎凋・枯死樹数(本)	左記以外の感染樹数(本)	合計
フルアジナム水和剤	500倍	50ℓ	10	0	0	0
無処理			8	2	2	4

(注) 1 平成15年5月1日に苗木植付け直後、薬液を土壌かん注処理し、8月～11月まで定期的に萎凋枯死調査。12月5日に全ての供試樹を掘り上げ、感染調査。  
2 供試樹：ふじ/M.26 1年生  
(参考価格) フロンサイドSC剤500倍 約1,018円/50ℓ/植え穴